



第49号

(発行所)

真宗大谷派

松岡山 廣讚寺

中村区城屋敷町3-30

TEL (052) 411-5301

FAX (052) 411-5341

携帯 090-1568-4623

E-mail:kousan-temple@trad.ocn.ne.jp

住職研修を受けて

先日、東別院で『二年目住職講習』という研修会に参加しました。昼の三時から夜十時過ぎまで行われました。講義を聞いて、座談会といったスケジュールでした。昨年、住職に就任した二十名の新任職の人々の中で語り合いました。

これからの社会はどうなっていくのか。これからのお寺はどうなっていくのか。これから我々はどうしていくべきなのか。いろいろなことを話し合い、あつという間に時間が過ぎていきました。

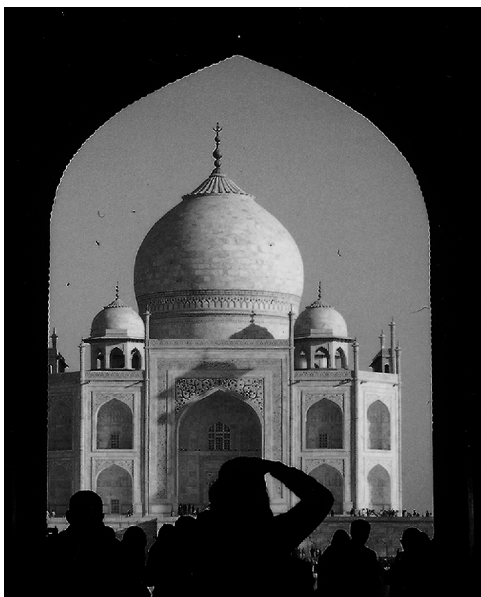
現状を報告しあいました。お寺に人が集まらなくなった。葬儀をしない人が増えてきた。我ら僧侶もダメになつてき

た。など、あまり良い状況にある寺はありませんでした。今まで通りのことをしていたら、寺には誰も来なくなる。寺はなくなり、いよいよ仏教も衰退していくのでは、という見解も出ました。

現代社会の抱える問題はたくさんあります。そんな中で老若男女、すべての人がそれぞれ苦悩を抱えています。そのような世の中で僧侶は何をやるべきなのか？どのように教化活動をしていったらよいのかを語り合いました。

新米住職の集まりで、どの住職も、あまりの責任の重さに困惑、

疲弊して
いました。
わたくし
もその中
の一人で
あります。



タージ・マハール (寺西税 撮影)

仏説阿弥陀経に登場する弟子

「憍梵波提」
きょうぼんはいだい

伊藤和美

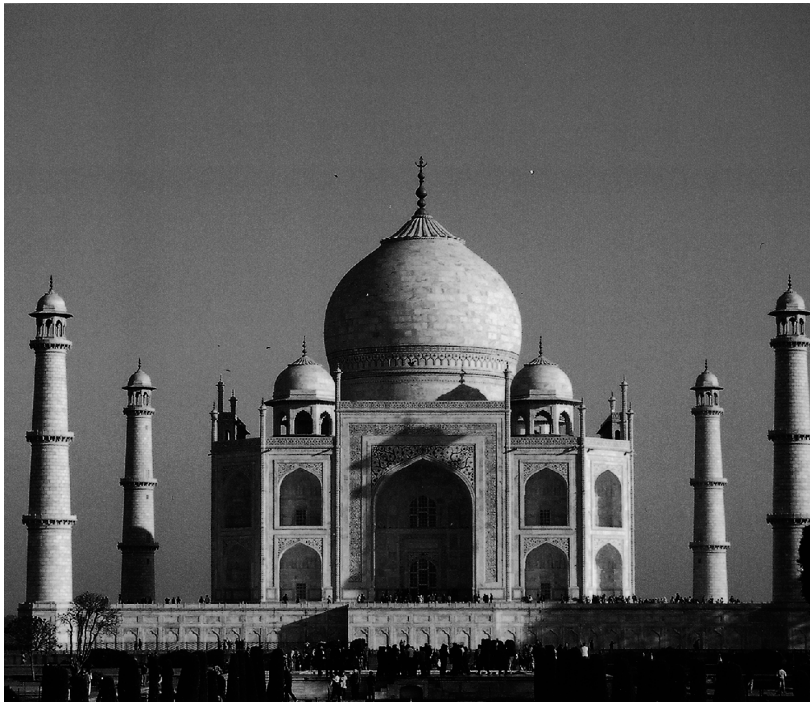
仏説無量寿経では『尊者(そんじや)牛(ぎゅう)王(おう)』という名称で登場しています。

前世において、他人の田んぼの米を盗むという悪事をしながら生きておりました。その前世の業によって牛に生まれ変わりました。長い間、牛として生まれは死に、生まれは死に、と流転を繰り返し、ようやく人間に生まれることができました。

ベナレスという村の裕福な家に生まれました。しかし長い間、牛として生きていた前世の癖が抜けませんでした。食事の時には牛のように、一度食べて胃の中に入ったものを口に戻してまた食べるといった具合でした。お釈迦様の弟子となってからもこの癖は直らず、他の弟子たちからもばかにされていました。しかし前世において犯した罪の根深さを自覚し、その報いありのまま受け入れておりました。そしてお釈迦様の説法をよく聞き、

仏道を真剣に歩きました。

やがては悟りを開かれ尊者となり天上界の世界に昇っていったとされるが、お釈迦様が亡くなられた時にその場におらず、後になって亡くなられたことを知ると、自身の身体を焼いて入寂されました。



一周忌への手紙

晃雅

ゆつくりなのか、急ぐのか、時は気持ちに寄り添った
り離れたり止まることなく進んでいく。見送っているの
に見送れないでいる心を、どうやって言葉で表してい
のか難しく、送ってあげればと思う心と、このままでい
いと思う気持ち。

私の両親も亡くなっている。母を見送ることができ、
父を見送れなかったことを、前任職に、どうしてなの、
返事があったのか定かでないの、おまえさん次第の心の
置きよう。

淋しくても泣けない私は父と前任職、二人も抱えるこ
とになってしまった。ちつとも重荷ではなく、思いと心
と笑顔の道しるべ、今も一緒だよ。ややこしいことなし
でね。

まっ、いいか、話があちこちにはなれてしまう。それ
でも続けるね。

こんな短歌を初めて知ったのと得意顔で前任職に話し
たの。奈良が本当に大好きで、神社仏閣の風景をひらが
なで、どれもみんなひらがなで詠んである。

つといれば あしたのかべに たちならぶ

かのせつだいの だいぼさつたち

『せつだい』とは唐招提寺のこと。

その人は新潟県出身でちよこつと変わった人だよ。こん
な調子だもの、本当にドラえもののポケットのごとく、
ポンとたたくといろいろなことが出てくるよ。

ただ晩年は、まわりのお仲間を一人、また一人と見送
り、おもいつきり漢詩を語れる人も亡くなり、古書、骨
董、布きれ(綿かすり)、童謡に。

知ってますか、意外でしょう、美空ひばりまでたくさ
んたくさんの思い入れの多き人。前任職がただ一度だけ
歌ってくれた。それだけでもわかってあげられ、思っ
ていると届いた。

行事予定

(四月)

四月十一日(水) 十六時半より

先代住職 讚海院釋亮昭 一周忌法要
先々代住職 恭敬院釋亮法 五十回忌法要
を勤めます。ぜひお参りください。

四月 五日(木) 二時 常任委員会

十四日(土) 七時半 同朋委員会・例会
(役員は六時半)

十九日(木) 二時～四時 学習会

二十八日(土) 朝 おみがき

二十八日講・総会

行事予定

(五月)

五月 十二日(土) 七時半 同朋委員会・例会

(役員は七時)

五月 十三日(日) ……※今年から日にちが

変更されます。

復興永代経執行

午前十時より おつとめ おとき

説教 竹原了珠師

午後は特別プログラムとして

有志による詩吟・民謡・舞踊など
廣讚寺座による演劇もあります

五月 十九日(土) 二時～四時 学習会

二十八日(月) 十時 二十八日講・女人講